

堺市東区政策会議テーマ別会議「ひがし歴活」の進捗について

方向性・決定事項

「ひがし歴活」では、住んでいる地域の歴史を知ってもらい、地域のものしりになることで地域の愛着や誇りにつながる取組を企画・検討中である。

- ・小学生をメインターゲットとする。
- ・地域の歴史を発掘・伝承・再発見するツアーの実施。（２ルート検討）
- ・校区クイズやツアーで発掘した情報・記録により「(仮称)東区かるた」を作成。
- ・「(仮称)東区かるた」により地域の歴史を知ってもらうきっかけを創出し、伝承。
- ・東区内での「かるた大会（案）」により、人と人を結びつける取組を実施。

これまでの経過（会議での意見）

第１回ひがし歴活（令和３年１０月１３日）

○歴史についての議論

（会議での意見）※一部抜粋

- ・子どもを巻き込むテーマの検討が必要。
- ・東区の「町名」の成り立ちや「学校の歴史」についてもおもしろい。
- ・現場を訪ね、住んでいる住民が「知る」ことに意義がある。身近な場所でも知らないことがあり発見できていない。
- ・東区には、「須恵器」「行基」「史蹟」「お地蔵様」「西高野街道」などの歴史があり、地図に落とし込むとより充実する。
- ・学校とも連携し小学生向けに何か成果物を作ってあげてもよいのではないか。

第２回ひがし歴活（令和３年１２月２２日）

○発掘・発信の取組における方向性について議論

（会議での意見）※一部抜粋

- ・テーマや校区を知るために、区民まつりで実施予定のクイズラリーで使用するクイズを追加でお願いし、今後のテーマ等を議論することはどうか。
- ・近代の歴史を対象とすることは地域に根差したテーマになる。
- ・「高齢者から子どもまで語り継げる近代の歴史」は地域の語り部とも関りができ良い。他市の事例で小学生が語り部として案内していることもあり良いと思う。

- ・各学校で地域との連携の授業が実施されており、協力してもらえるのではないかな。
- しかし、授業との関係や学校の意見、子どもの安全の確保など課題がある。
- ・テーマが決まれば、テーマに沿って校区を歩いてみるのはどうか。

第3回ひがし歴活（令和4年3月16日）

○各校区から提出いただいた校区クイズ（別紙参照）をもとに取組について議論

（会議での意見）※一部抜粋

- ・散策ツアーのスポット選定は、校区にこだわる必要はなく東区全体として知ってもらえる取組にしてはどうか。
- ・語り部を子どもにしてもらう取り組みは、非常に興味深い。
- ・「堺かるた」や「美原かるた」は地域を知ることができ、さまざまな年代の人が一緒に遊べるツールである。
- ・「かるた」（成果物）を作って終わりではなく、どう活用していくかが大切であり、先に決めておく必要がある。
- ・継続的に「かるた大会」ができると面白い。

今後のスケジュール（案）

4月	スポット・ルートの選定
6月	メンバーでの散策
7月	関連資料・情報収集（深掘り）
	ツアー参加者募集
9月	ツアーの実施
10月以降	記録の活用方法の検討
3月	（仮称）東区かるたの作成
来年度以降	かるた大会（案）実施